この人に聞く Spotlight

No.244

地域の特性を生かしたまちづくりを研究

大内 裕太 さん



「仲間と一緒に、地域活動に携わることが私の楽しみです」。そう話すのは、弘前大学大学院地域社会研究科博士課程1年の大内裕太さん（中野町・25歳）です。

高校生の頃から人口減少などの地域課題に目を向けてきた大内さん。まちを持続させるために何が必要か探るため、現地に足を運び、地域住民と交流をしながら研究を積み重ねています。大学院でまちづくりに関する研究をする傍ら、地元の消防団や町内会の活動に参加。また、修士課程1年のとき、本市のインターンシップに参加したことがきっかけで口内町自治協議会のイベント運営などにも参画しています。「研究で行き詰まったとき、地域の愉快な皆さんとたわいない話をすることが息抜きになる」と微笑みます。

9月から10月にかけて諏訪町商店街で行われた社会実験「きたかみウォーカブルチャレンジ」。大内さんは、その一環として、長さ50㍍のテーブルで参加者が地元食材を使った料理を一緒に食べるイベント「ビッグランチ」を企画しました。地域の宝物である郷土料理を振る舞い、食を通じた人の交流で地域に関わる人を増やしたいとの思いから発案。「関心を持つきっかけづくりとしては大成功」とする一方で、もともと地域活動を頑張っている人たちにも参加を呼びかけるべきだったと振り返ります。

最近は、北上市を飛び出し、青森県黒石市のまちづくりに着目。毎月1回、現地に通っています。黒石市の特性を生かしたまちづくりの、新たなポイントを発見することが現在の課題だと語ります。

将来は、「地域課題の解決策を見出す研究者になりたい」と話す大内さん。まだ明るみに出ていない「まちを元気にするヒント」を求めて、これからも研究活動を続けます。

11月のクラス

飯豊小学校 1年1組



どんなクラス？

中休みや昼休みの時間に教室や廊下の掃除を頑張る（紗菜、光優馬、隆斗）

友達同士で助け合える優しいクラス（颯太、空蓮、侑平）

国語の授業で、漢字を丁寧に書く（明莉）

縄跳びでたくさん跳べるように、諦めないで練習を頑張る（令華）

担任 藤村先生からのメッセージ

雨の日の休み時間は掃除をしてくれる1組さん。遊んでいいんだよ。みんなの教室をピカピカにしてくれるので、とても気持ちがよいです。いつもありがとう☺

みんなの広場

11月のアーティスト

菊池 優雅 くん
藤根幼稚園 5歳





幼稚園で焼き芋をしたときの絵を描いたよ！サツマイモは甘くておいしかったな。焼けるまでみんなでハロウィーンパーティーもして楽しかった！

みんなの詩歌

No.308



見上げれば夕日に染まる秋の山
小田島 瑞

この手から夜長広がる帰り道
髙橋 明莉

秋晴れの影だけ伸びる帰り道
佐々木 凛太郎

雪どけの生命感じる日の光
長島 暖樹

北上北中学校三年

※掲載作品は日本現代詩歌文学館内に展示しています。

おらほの愛どる



佐藤 真生 くん
令和7年4月23日生まれ
（相去町）

生まれてきてくれてありがとう！これからも好きなことに向かって真っすぐ生きてください。



鴨澤 想 くん
令和7年5月17日生まれ
（町分）

生まれてきてくれてありがとう！強くたくましく、そして優しい子に育ってね。



中川 はづき ちゃん
令和6年8月6日生まれ
（堤ケ丘）

いつも元気なはづきちゃん。毎日わが家を明るくしてくれてありがとう！

申し込みフォーム